

公益財団法人 鉄鋼環境基金
第 41 回(2020 年度)研究助成事業 応募状況

2020 年度の研究助成事業の公募は、2020 年 4 月 1 日から 5 月 31 日までの募集期間で行った。今年度の応募状況は以下の通りである。

【応募状況全般】(カッコ内は過去 4 年の数字)

- ① 応募総数は 179 件('16:177、'17:180、'18:146、'19:161)であり、昨年度より 18 件、11%増加した。
うち、新規テーマは 146 件、継続テーマは 33 件の応募であった。
- ② 大学からの応募は 141 件('16:146、'17:144、'18:116、'19:130)であった。
- ③ 高専からの応募は 13 件('16:9、'17:16、'18:12、'19:12)であった。
- ④ 研究所・団体等からの応募は 25 件('16:23、'17:20、'18:18、'19:19)であった。
- ⑤ 若手研究の応募は 42 件・全体の 23%('16:38・21%、'17:52・29%、'18:42・28%、'19:35・22%)。
- ⑥ 初めての応募者は 41 人・全体の 23%('16:55・31%、'17:60・33%、'18:41・28%、'19:31・19%)。

【応募件数・助成件数の推移】

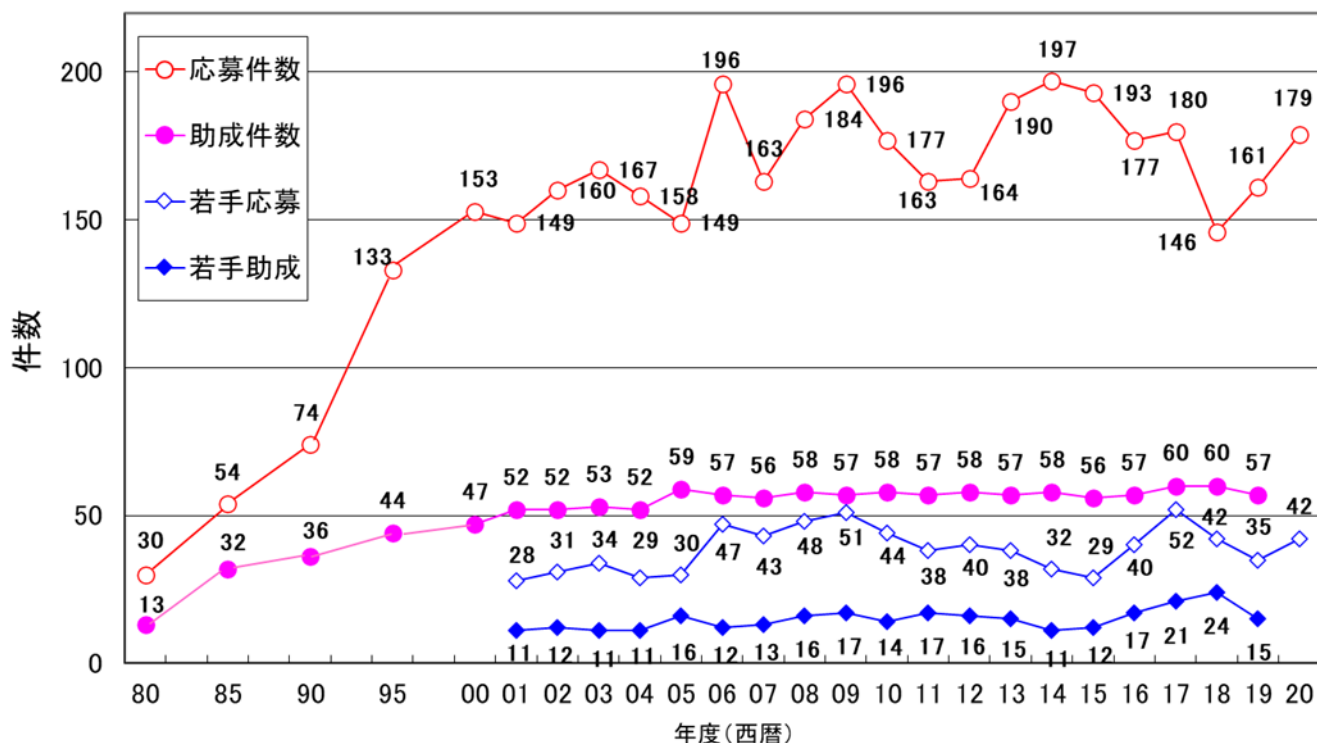


図 応募件数・助成件数の推移

【分野別応募件数】

分野・課題	2020年度応募件数		
	一般	若手	合計
(1)大気環境保全技術	26	8	34
①省エネ・低コスト・高効率化	2	0	2
②水銀等重金属の低減	1	1	2
③PM2.5対策	23	7	30
(2)土壌・水質保全技術	43	14	57
①水処理の省エネ・低コスト・高効率化	11	8	19
②排水中重金属除去・回収	14	3	17
③土壌地下水汚染	11	3	14
④閉鎖性海域	7	0	7
⑤その他	0	0	0
(3)副産物利用促進・廃棄物効率的処理	35	2	37
①スラグの利用・高付加価値化	31	2	33
②副産物の減量減容化、再利用	3	0	3
③水銀汚染廃棄物の効率的処理	0	0	0
④他産業副産物・廃棄物の有効利用	1	0	1
(4)地球環境問題	28	16	44
①抜本的CO ₂ 排出削減	6	2	8
②未利用エネルギー有効活用	5	6	11
③CO ₂ 分離・固定・隔離	16	7	23
④地球温暖化に対する適応技術	0	1	1
⑤その他	1	0	1
(5)エコプロセス	5	2	7
①環境汚染物質の発生抑制・極小化	1	0	1
②循環型社会の構築	3	2	5
③その他	1	0	1
(6)その他	0	0	0
合計	137	42	179

下線：特に関心のある技術課題
 太字・斜体：今年度新設課題